

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホームさくらの郷増築工事	階数	地上3F
建設地	高座郡寒川町小動622番地 外6筆	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	64人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2015年1月14日
敷地面積	1,640(仮想敷地) m ²	作成者	株式会社 小林建築事務所
建築面積	819 m ²	確認日	2015年1月14日
延床面積	2,221 m ²	確認者	株式会社 小林建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.8 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5
---------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3
------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------

3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行うなど、環境に配慮している。	
Q1 室内環境 断熱材の強化により外皮性能を上げているなど、温熱環境に配慮している。また、F 建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。内外装共防汚性に配慮した材料を使用するなど、維持管理に配慮している。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。LED照明設備を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓などの省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。
	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して78%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される